

子ども発達総合演習 I

1. 担当教員

- ・ 名前: 大迫 章史(おおさこ あきふみ)

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

本授業は「子ども」「保育」「教育」を中心的なキーワードとして、これに関連する文献を読むこととおして、保育・教育に対する理解を深め、これからの保育・教育のあり方を考えていくことのできる力を身につける。

(2) 到達目標

- ① 保育・教育・子どもに関する文献を読み、理解することができる。
- ② 保育・教育・子どもについて、自らの考えをもち、言語等で表現することができる。
- ③ 保育・教育・子どもについての自分の考えを、言語等で他の人に伝えることができる。

(3) ディプロマポリシーとの関連

人間発達学科のディプロマポリシー「(4)子ども期の発達についての深い理解と技能を身につけ、保育士または幼稚園教諭としての十分な知識、スキル、倫理を身につけている」にもとづき、子ども期の発達について、深い理解を有している。

3. 授業の概要

本演習では、その大きなテーマとして、教育・保育に関わる問題、子どもの権利に関わる問題、子どもの学力問題など子どもと保育・教育に関わる内容、子どもと学校に関わる内容、あるいは子どもと社会に関わる内容を扱うことを考えている。

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1) 予習の仕方

「6. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間」にそって、授業を展開するので、ゼミで講読する文献を読んでおくこと。『保育所保育指針』ならびに『保育所保育指針解説書』の対応する箇所をあらかじめ読んでおくこと。

(2) 授業の受け方

講読文献等について、レジюмеを作成し発表する。発表担当者以外の人は、疑問点などについて発言する。

(3) 復習の仕方

講読文献の内容が理解できているかどうかを確認すること。

5. 受講にあたってのルール

(1) 受講時の基本姿勢(マナー)

私語等はしないこと。携帯電話等は授業前に電源を切り、かばん等に必ずしまうこと。また、荷物等は、空いている席におき、机の上などには置かないこと。授業中の飲食等も認めません。

(2) 遅刻・欠席・早退の扱い

シラバス(公開版)

受講者はすべての授業に出席すること。遅刻・早退は欠席とみなします。やむを得ない事情で欠席・遅刻・早退した場合には、次週の授業日までに授業担当教員に申し出ること。

(3) 期末試験の受験資格

講義科目における大学のルールとして、原則 2/3 以上の出席を成績評価対象の条件とします。

4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	テーマ・内容	予習・復習	備考
1	授業全体ガイダンス		
2	教育・保育に関する文献①の講読と討議(1)	文献を読んでくる。	
3	教育・保育に関する文献①の講読と討議(2)	文献を読んでくる。	
4	教育・保育に関する文献①の講読と討議(3)	文献を読んでくる。	
5	教育・保育に関する文献①の講読と討議(4)	文献を読んでくる。	
6	教育・保育に関する文献②の講読と討議(1)	文献を読んでくる。	
7	教育・保育に関する文献②の講読と討議(2)	文献を読んでくる。	
8	教育・保育に関する文献②の講読と討議(3)	文献を読んでくる。	
9	教育・保育に関する文献②の講読と討議(4)	文献を読んでくる。	
10	教育・保育に関する文献③の講読と討議(1)	文献を読んでくる。	
11	教育・保育に関する文献③の講読と討議(2)	文献を読んでくる。	
12	教育・保育に関する文献③の講読と討議(3)	文献を読んでくる。	
13	教育・保育に関する文献③の講読と討議(4)	文献を読んでくる。	
14	既習文献に関する全体討議(1)	文献を読んでくる。	
15	既習文献に関する全体討議(2)	文献を読んでくる。	
16	教育・保育に関する文献④の講読と討議(1)	文献を読んでくる。	
17	教育・保育に関する文献④の講読と討議(2)	文献を読んでくる。	
18	教育・保育に関する文献④の講読と討議(3)	文献を読んでくる。	
19	教育・保育に関する文献④の講読と討議(4)	文献を読んでくる。	
20	教育・保育に関する文献⑤の講読と討議(1)	文献を読んでくる。	
21	教育・保育に関する文献⑤の講読と討議(2)	文献を読んでくる。	
22	教育・保育に関する文献⑤の講読と討議(3)	文献を読んでくる。	
23	教育・保育に関する文献⑤の講読と討議(4)	文献を読んでくる。	
24	教育・保育に関する文献⑥の講読と討議(1)	文献を読んでくる。	
25	教育・保育に関する文献⑥の講読と討議(2)	文献を読んでくる。	
26	教育・保育に関する文献⑥の講読と討議(3)	文献を読んでくる。	
27	教育・保育に関する文献⑥の講読と討議(4)	文献を読んでくる。	
28	既習文献に関する全体討議(1)		
29	既習文献に関する全体討議(2)		
30	既習文献に関する全体討議(3)		
予習・復習	予め配布された教育・保育に関する文献を読み、自分の考えや意見を整理して、授業の際に発表する。担当回によっては、レジュメを作成する。復習は、改めて、予習の際に理解できていなかった部分の理解度を確認する。目安の時間として、授業 1 コマにつき、予習 60 分、復習 60 分が必要。		

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

5. 評価方法(テスト、レポート、課題等へのフィードバックの方法も含む)

(1) 出席と受講態度(80%)…原則として、すべての授業に出席すること。

シラバス(公開版)

(2) レジユメ作成(20%)…担当回におけるレジユメの作成と発表。

6. 履修上の注意

受講に際して、心配や不安なことがある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。